

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 事業所番号   | 3890200029        |
| 法人名     | 医療法人 仁明会          |
| 事業所名    | グループホーム はとり       |
| 所在地     | 愛媛県今治市南宝来町3丁目4番地1 |
| 自己評価作成日 | 平成 23年 6 月 25 日   |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8番15号    |
| 訪問調査日 | 平成23年7月20日        |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事は、利用者ごとの嚥下状態に合わせてながら、きめ細かな対応を行い、沢山のメニューでおいしい食事を心がけている。要介護5の状態になってもできるだけトイレで排泄ができるように、介護度が進んでもホームで生活ができるように配慮している。 職員の働きやすさにも重点を置いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの居間に入ると、家庭的な雰囲気作りがされており、壁には季節を感じさせる手作りの物が飾られている。居間、部屋共に適温に保たれ掃除も行き届き、利用者も穏やかに過ごすことができている。管理者や職員は理念を共有し、利用者の日々の生活を支えている。自治会に入り地域との交流も積極的にしており、散歩時には近所の方とあいさつを交わす等良好な関係が構築されている。24時間医療連携体制が確保されており、医療面においても利用者や家族は安心して生活することができる。職員は研修にも多く参加し、学んだことを日々のケアにいかしている。食事は利用者の楽しみの一つであり、厨房担当の職員が利用者に合わせて調理方法も工夫している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印   |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)  |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    |    |   |

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 医療法人 仁明会 グループホーム はとり

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 原文香

評価完了日 平成 23 年 6 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|--|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |  |                               |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | <p>(自己評価)<br/>ご利用者が、ご自分の家庭で暮らすように、住み慣れた地域で、楽しく、健やかに、自分らしく暮らせるように願って、事業所の理念としている。玄関、各階の中央柱に運営理念を掲示して、運営理念を共有している。</p> <p>(外部評価)<br/>理念は開設当時から変えることなく大切にしており、分かりやすく覚えやすい言葉で表され管理者や職員は理念を共有し、利用者の穏やかな暮らしを支えるために日々努めている。</p>   |                               |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | <p>(自己評価)<br/>グループホームの利用者も、地域のお祭りなどに参加し、地域の方も御神輿でホームを訪れたり、子供御輿や「いのこさん」などの時には子供たちがホームを訪れてきている。日々の散歩の途中で挨拶を交わしたり、園芸作業中の地域の方がお花をくださったりする。職員も、駐車場からホームまでの間に、積極的に地域の方とコミュニケーションをとり、日常的に交流を図っている。</p> <p>(外部評価)<br/>開設当初より地域の繋がりを大切に考え、自治会にも入り積極的に交流を図っている。2か所の幼稚園との交流があり、デイサービスセンターで行われる夏祭りには近所の方も参加してくれている。散歩時には地域の人達とあいさつを交わすなど良好な関係が構築されている。</p> |                               |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価)<br/>ご近所の方が夏祭りや、文化祭の時、また、運営推進会議時にホームを訪れた時に、認知症についての質問に答えられる範囲でお答えしている。介護実習生を受け入れ介護人材育成に、わずかながら協力している。</p>   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|---|--|
| 4    | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)<br>運営推進会議を2ヶ月に1回開催して、ホームのご利用者や職員のことなどを報告し、困り事などの相談、様々な御意見をいただき、運営に活かしている。  |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>運営推進会議は2か月に1回行われており、ホームの現状や活動報告、意見交換が行われている。地域住民は参加しているが、人数が少なく固定化されている。  | ホームが地域の中での役割を果たすためには、多くの地域住民の協力が必要である。ホームを理解し支援してもらうためにも、様々な立場の方の参加を呼びかけ活発な意見交換ができる会議になるよう期待したい。 |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)<br>わからないことや、疑問に思うこと、又、困難事例などを市役所高齢介護課に相談しながら運営を行っている。  |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>地域包括支援センターの職員には必ず運営推進会議に出席してもらって連携を密にしている。市の高齢介護課には分からない事等相談することも多く、普段から連携が取れている。                                   |  |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>玄関や居室の施錠も身体拘束に含まれるということは、カンファレンス時に職員間で話し合い。職員全員が身体拘束について理解できる場を設けている。又、ご利用者ごとに工夫したケアをすることで、一切の身体拘束を行っていない。          |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>マニュアルを作成し、2か月に1回拘束に対しての勉強会を行い、職員は理解して身体拘束の無いケアに取り組んでいる。声かけについても日頃から気をつけている。日中は玄関の鍵は掛けておらず、ユニット間の行き来は自由にできるようになっている。 |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br>平成22年度より虐待防止委員会を、立ち上げ、不定期ながら活動を行っている。そこで、話題になったことなどは、ミーティング時やカンファレンス時に職員みんなで学んでいる。                         |                               |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>権利擁護事業や日常生活自立支援事業について、研修に参加し、必要な高齢者や御家族には、ご利用を勧めている。   |                               |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br>ご本人や、御家族とよく話し合う機会を持ち、契約を結んでいる。   |                               |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | (自己評価)<br>運営推進会議や御家族の訪問時に御家族の御意見を聞き運営や計画に反映している。各階のホームの入り口に御意見箱を置いて、御家族や訪問者の御意見を聞いている。                               |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>利用者には日常の生活の中で聞いたり、家族には訪問時や電話連絡をした時に意見や要望等を聞いている。また、運営推進会議や家族会等でも聞くよう心がけている。家族の方からの要望は、職員会議等で話し合い実践につなげている。 |                               |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-----------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | <p>(自己評価)<br/>月に1回の定例の管理者、職員ミーティングを行い、職員の意見を聞き、運営に反映している。</p> <p>(外部評価)<br/>年1回の個人面接で意見を聞いたり、ミーティング時に職員から意見をだしてもらっている。管理者とは気軽に話ができ、利用者のケアについて提案する事も多く、管理者も職員の意見を採り入れ、話し合いを行い実践に活かしている。</p> |                               |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | <p>(自己評価)<br/>代表者は、管理者始め個々の職員の、努力や実績、勤務状況を把握して、給与などに反映し。各職員が向上心を持ち、安心して働くことができるよう、育児休暇、介護休暇、有休休暇取得など、職場環境、条件の整備に努めている。</p>   |                               |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | <p>(自己評価)<br/>職員の研修計画を作成し、個々の職員に必要な、内外の研修を受けることができるよう、又、働きながらステップアップができるように、資格取得研修に職員を参加させている。</p>   |                               |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | <p>(自己評価)<br/>値域密着型サービス協会に所属して、各種研修や相互研修事業に参加し、同業者と交流する機会を作り、サービス協会の活動を通じて、地位全体のサービスの質を向上させるべく、日々努力をしている。</p>  |                               |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |  |                               |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | <p>(自己評価)<br/>入居前や、入居直後にご本人、ご家族と話し合い、アセスメントを行って、ご本人や御家族の状況を理解して希望をお聞きし、計画に反映し、その後も定期的にご本人御家族と話し合いをもち、安心を確保している。</p>  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>入居前や、入居後に御家族と話し合い、ご本人や御家族の状況を理解して、御家族の不安、要望に耳を傾け、その不安や要望が解決されるよう計画し、頻回に話し合いを行うことで、御家族との関係作りに務めている。  |                               |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>サービス利用前に、ご本人と御家族と面談を行い、グループホームへの入居が、ご本人や御家族にとって、最良の支援であるかどうかを話し合う。  |                               |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>ご本人のできることできないことをアセスメントして、できることは手伝っていただき、できない事は援助を行っている。また、ありがたいの言葉がけを行い、共に生活する関係を築いている。   |                               |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>ご本人のアセスメント後、御家族の協力して頂ける範囲で協力をお願いし。本人と家族の絆を断ち切らないように配慮しながら支援を行っている。  |                               |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)<br>御家族や、友人の面会を歓迎して、職員が茶菓でもてなし、本人との関係がとぎれないように、誰でも訪問できる雰囲気を作っている。<br><br>(外部評価)<br>家族と出かけて馴染みの場所や美容院に行ったり、知人が訪ねてきたりする。長く入居している利用者は、ホームが自分の居場所となっている人もおり、デイサービスとの交流等で新たな馴染みの関係ができるよう努めている。 |                               |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>利用者の日々の状況を把握して、良い関係が保てるように、職員がさりげなく利用者に関わりフォローすることで、利用者同士が、一緒に生活している仲の良い隣近所のように自然に支え合えるように務めている。      |                               |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>ホームを退所した後も、必要に応じて、ご本人や御家族の近況に注意して、必要に応じてフォローし、相談支援を行っている。   |                               |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |                               |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>ご本人や御家族とできるだけコミュニケーションをとり。本人の思いに寄り添えるよう努力している。  |                               |
|                                    |      |   | (外部評価)<br>担当の職員を中心に、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。できるだけ利用者へ寄り添った思いを聞くようにしている。把握した内容は記録に残し、カンファレンスや申し送り等で共有し支援にいかしている。 |                               |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>入居時に居宅の介護支援専門員さんから、情報を提供していただき、それ以外は、ご本人や、御家族から、生活歴等を聞き把握して。  |                               |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>アセスメントシートを使用し、一人一人の現状の把握につとめている。  |                               |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------|------|--|--|---|
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | <p>(自己評価)<br/>計画作成時、ケアカンファレンスを行い、ご本人や御家族の意見、希望をお聞きして計画に反映している。昨年の評価で、計画目標のデジタル化やデータ化へ期待されていたが、今年度もその目標は達成できずにいる。また、笑顔度評価は、案外職員間での統一が難しく、再考している。</p> <p>(外部評価)<br/>本人や家族の希望を聞いたり、職員の意見を採り入れて、計画作成担当者が介護計画を作成している。担当の職員が週1回モニタリングをし、カンファレンスで話し合っている。3か月ごとに見直しを行い、計画作成時には家族にも参加してもらっている。参加できない家族に対しては電話で報告している。</p> | 計画作成担当者が2人とも替わり、モニタリングの記録方法も検討中である。今後も利用者や家族の思いや意向を書き留めた記録をいかし、よりよい介護計画が作成できるよう期待したい。 |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | <p>(自己評価)<br/>個別記録を作り、日々の様子や計画の実践経過、結果、評価を行い、次の計画に反映している。</p>  |   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | <p>(自己評価)<br/>ご利用者の、ニーズに合わせて、自宅で高齢者を家族が介護するように、柔軟に対応できる場所は対応している。</p>  |   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | <p>(自己評価)<br/>ご本人を支えている、ご近所、隣組、友人、老人会など地域資源を把握して、協力していただける部分は協力していただいている。</p>  |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している  | <p>(自己評価)<br/>ご本人、御家族にかかりつけ医を確認して、希望の医<br/>療機関を受診いただいている。又、協力医療機関とも<br/>密に連絡を取り、利用者が適切な医療を受け健康が保<br/>てるように支援している。他科受診で、御家族の健康<br/>不良により家族支援が受けられない場合には、ホーム<br/>の職員が受診介助を行うこともある。</p> <p>(外部評価)<br/>利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を基本と<br/>しているが、往診も可能なため協力医療機関をかかり<br/>つけ医としている利用者が多い。他の専門的な医療機<br/>関をかかりつけ医としている方は家族が受診に付き<br/>添っている。また24時間の医療連携が取れている。</p> |                               |
| 31   |      | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | <p>(自己評価)<br/>毎日の申し送り時に、ホームの看護師にご本人の状態<br/>を報告、相談を行い、適切な受診や看護が受けられる<br/>ように支援している。</p>   |                               |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できる<br>ように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | <p>(自己評価)<br/>入退院時、入院病院と情報を交換して、早期退院受け<br/>入れができるようにしている。大腿骨頸部骨折の手術<br/>後も、医療機関との連絡調整を行い、ほぼ全員の方が<br/>再入所されている。</p>   |                               |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | <p>(自己評価)<br/>入所時より、本人の状態に合わせて、重度茅終末期に<br/>ついての相談を行い、終末期の方や御家族とは密に連<br/>絡を取って支援を行っている。</p> <p>(外部評価)<br/>利用者や家族が希望し、ホームで看る事が可能であ<br/>れば看取りをする方針であることを入居時に説明して<br/>いる。利用者の状態の変化に応じて家族、かかりつけ<br/>医と話し合いを行い対応している。職員は看取りにつ<br/>いての勉強会も行っている。</p>  |                               |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|----------------------------------|------|--|---|--|
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>急変や、事故発生に備えて、救急マニュアルを作り、毎年職員数名ずつ、AED・心肺蘇生の研修に参加している。  |  |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>防火訓練・避難訓練を年に2回行い、緊急災害に備えて訓練を行っている。地震や水害に対しては、マニュアルがあるが、もう少しこまかい部分に再考が必要なため、今後マニュアルの検討予定である。今月のミーティングで言葉で具体的に水害時、地震時の避難場所を決めたがそれが職員全員に行き渡るようにしていきたい。<br>(外部評価)<br>年2回避難訓練を行い、夜間を想定した訓練も行っている。昨年スプリンクラーの設置をしている。マニュアルは作成しているが避難場所など見直しの必要があり、作り直す予定としている。災害に備えた備品も徐々に準備している。応急処置等の研修にも職員が交替で参加している。 | 災害はいつ起こるかわからないため、職員は利用者の避難を的確に行う方法を身につける事が求められる。ホーム独自のマニュアルを作成し、地域の協力を得ながら訓練する事を期待したい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>一人ひとりのパーソナリティに合わせて、本人のプライドを傷つけないように、言葉掛けや対応を行っている。<br>(外部評価)<br>利用者の部屋に入る時には職員は必ず声をかけており、言葉かけも穏やかである。利用者一人ひとりの今までの過ごしてきた背景も考慮しながら対応している。申し送り時には個人情報が出れないよう配慮している。   |  |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>日常生活の中で、何度も本人の希望や意思を確認し、自己決定できるように介護を行っている。   |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>できるだけ、本人のペースに沿った介護を行っている。   |                               |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | (自己評価)<br>洋服やアクセサリなど、その人らしいおしゃれができるように、支援している。  |                               |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>利用者の好みに気を配りながら、利用者と一緒に食事の準備、片づけを行っている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>利用者の身体機能の低下によりできる事が少なくなってきたが、できるだけ職員と一緒にやるよう努めている。食事は利用者の楽しみの1つであり、職員も一緒にテーブルに座り食事の時間を楽しんでいる。調理担当の職員がいるため介護職員は利用者のケアに専念できている。 |                               |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | (自己評価)<br>個々の利用者に合わせた、栄養摂取や栄養バランスに気を配り、脱水にならないように水分補給を行っている。  |                               |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | (自己評価)<br>毎食後、本人のできる状態に合わせて、口腔ケア支援を行っている。   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>利用者全員がトイレで排泄ができるように、排泄チェックを行い、計画を作成して排泄が自立できるように援助を行っている。   |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>一人ひとりの排泄パターンを把握して支援している。夜間はオムツを使用している利用者も、昼間はトイレ誘導している。見守りの人もトイレの後は必ず確認している。夜間は声かけを行っているが、睡眠剤を使用している利用者などは睡眠を優先したり、介助を行ったりしている。 |                               |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>利用者ごとに排便チェックを行い、排便確認を行ってスムーズな排便があるように、繊維の多い食物や、おやつで工夫して自力で排泄があるように務めている。  |                               |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>できるだけ自宅での入浴時間に近い時間に、入浴を行っている。利用者の希望に合わせて長い時間をかけて入浴を楽しまれる方もいる。   |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>入浴は午後からになっているが、利用者の希望に合わせて2日に1回は入れるよう支援している。入浴の苦手な利用者は、無理強いをしないよう声かけや対応を工夫して気持ちよく入ってもらえるように心がけている。                              |                               |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>時間で、縛ることなく、その日その日の利用者の状況に合わせて、日常生活を支えている。   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価)<br>看護師が常勤しており、服薬支援、服薬指導、症状の変化の把握を行っている。内服方法や服薬に関して注意がある場合には、看護師より介護職員に対して説明が行われている。  |                               |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>できる方には役割を持っていただき、買い物やお花の管理などを手伝っていただいている。嗜好品や、各個人の楽しみ事は個人に合わせて行っている。  |                               |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>できるだけ、毎日散歩ができるように支援している。また、お出かけ希望があれば、車で外出したり御家族の協力も得て外出支援を行っている。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>利用者の希望に合わせて買い物やドライブ、散髪等に出かけている。天気の良い日は散歩が日課になっており、近所の公園や寺、神社に行っている。園芸を楽しむ事で外気に触れる機会も作っている。また年間行事の中に外出の計画を立てて支援している。                   |                               |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>お金は、管理能力のある方は、できるだけ本人に管理してもらっている。又、金銭管理が難しいかたでもご本人の強い希望があれば、御家族とお話しして、ご本人が管理できる範囲の金銭を所持してもらっている。職員は買い物時に、ご本人が自分でお金を払うことができるように支援している。 |                               |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | (自己評価)<br>希望時に電話が掛けられるように支援している。携帯電話をお持ちの方はその支援も行っている。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>居室も共用スペースも居心地の良いように、配慮して介護を行っている。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>居間には季節の花を飾り、壁には職員と利用者が手作りした季節に応じた飾りがしてある。台所からも利用者を見守ることができるようになっていいる。利用者が日々過ごす事ができるように家具やソファの配置を工夫し、畳のスペースも確保している。適温に保たれた部屋で利用者も穏やかに過ごしている。 |                               |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | (自己評価)<br>居室以外に、一人になりたいときに利用できる、畳の間を用意している。   |                               |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | (自己評価)<br>居室は、利用者それぞれに、本人の好みの物や、使い慣れた物、個性あふれた物を持ち込み、本人が自宅と変わらない生活ができるように支援している。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>部屋の中は家庭より使い慣れた物や、お気に入りの物が持ち込まれ、家庭で過ごしていたように配置されている。壁の飾りも好みに合わせている。掃除も行き届いており、落ち着いて過ごせる部屋作りがされている。   |                               |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | (自己評価)<br>エレベーターのボタン等をユニバーサルデザインにして、ご利用者にもわかりやすいように配慮している。  |                               |

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 事業所番号   | 3890200029        |
| 法人名     | 医療法人 仁明会          |
| 事業所名    | グループホーム はとり       |
| 所在地     | 愛媛県今治市南宝来町3丁目4番地1 |
| 自己評価作成日 | 平成23年6月25日        |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8番15号    |
| 訪問調査日 | 平成23年7月20日        |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事は、利用者ごとの嚥下状態に合わせながら、きめ細かな対応を行い、沢山のメニューでおいしい食事を心がけている。要介護5の状態になってもできるだけトイレで排泄ができるように、介護度が進んでもホームで生活ができるように配慮している。職員の働きやすさにも重点を置いている。日々の掃除や衛生面にも気を遣い、こまめな掃除を心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの居間に入ると、家庭的な雰囲気作りがされており、壁には季節を感じさせる手作りの物が飾られている。居間、部屋共に適温に保たれ掃除も行き届き、利用者も穏やかに過ごすことができている。管理者や職員は理念を共有し、利用者の日々の生活を支えている。自治会に入り地域との交流も積極的にしており、散歩時には近所の方とあいさつを交わす等良好な関係が構築されている。24時間医療連携体制が確保されており、医療面においても利用者や家族は安心して生活することができる。職員は研修にも多く参加し、学んだことを日々のケアにいかしている。食事は利用者の楽しみの一つであり、厨房担当の職員が利用者に合わせて調理方法も工夫している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印   |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)  |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    |    |   |



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 事業所名     | 医療法人 仁明会 グループホーム はとり |
| (ユニット名)  | 3F                   |
| 記入者(管理者) |                      |
| 氏名       | 原文香                  |
| 評価完了日    | 平成 23 年 6 月 25 日     |

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|---|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |   |                               |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | <p>(自己評価)<br/>「楽しく健やかに自分らしく暮らす」という理念を元に個々のケアプランを作成し、職員はケアプランに基づいて利用者一人一人の生活支援に関わっている。</p> <p>(外部評価)<br/>理念は開設当時から変えることなく大切にしており、分かりやすく覚えやすい言葉で表され管理者や職員は理念を共有し、利用者の穏やかな暮らしを支えるために日々努めている。</p>   |                               |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | <p>(自己評価)<br/>お花見や夏祭りなど、季節の行事を開催することで、地域との交流を図っている。又、日常的に近所をお散歩し、地域の方々と挨拶を交わすことで、地域との交流を図っている。</p> <p>(外部評価)<br/>開設当初より地域の繋がりを大切に考え、自治会にも入り積極的に交流を図っている。2か所の幼稚園との交流があり、デイサービスセンターで行われる夏祭りには近所の方も参加してくれている。散歩時には地域の人達とあいさつを交わすなど良好な関係が構築されている。</p> |                               |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価)<br/>ご近所の方が夏祭りや、文化祭の時、また、運営推進会議時にホームを訪れた時に、認知症についての質問に答えられる範囲でお答えしている。介護実習生を受け入れ介護人材育成に、わずかながら協力している。</p>  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|---|--|
| 4    | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)<br>運営推進会議では、利用者の状況やサービス内容を報告し、意見交換する場を設けている。そこで出た意見を現場職員に伝達し実践することで、サービスの向上に活かしている。                                    |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>運営推進会議は2か月に1回行われており、ホームの現状や活動報告、意見交換が行われている。地域住民は参加しているが、人数が少なく固定化されている。  | ホームが地域の中での役割を果たすためには、多くの地域住民の協力が必要である。ホームを理解し支援してもらうためにも、様々な立場の方の参加を呼びかけ活発な意見交換ができる会議になるよう期待したい。 |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)<br>運営推進会議の際に市町村の方から意見をいただいたり、それ以外でも不明な点、質問などがあれば市町村へ連絡し相談させていただいている。   |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>地域包括支援センターの職員には必ず運営推進会議に出席してもらって連携を密にしている。市の高齢介護課には分からない事等相談することも多く、普段から連携が取れている。                                   |  |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>玄関や居室の施錠も身体拘束に含まれるということは、カンファレンス時に職員間で話し合い。職員全員が身体拘束について理解できる場を設けている。又、ご利用者ごとに工夫したケアをすることで、一切の身体拘束を行っていない。          |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>マニュアルを作成し、2か月に1回拘束に対しての勉強会を行い、職員は理解して身体拘束の無いケアに取り組んでいる。声かけについても日頃から気をつけている。日中は玄関の鍵は掛けておらず、ユニット間の行き来は自由にできるようになっている。 |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br>日々の申し送りやカンファレンスの際に異常がある利用者の状況について、管理者、職員が把握できるような体制を取っており、虐待の防止、早期発見が行えるよう徹底している。                           |                               |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>権利擁護事業や日常生活自立支援事業について、研修に参加し、必要な高齢者や御家族には、ご利用を勧めている。  |                               |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br>ご本人や、御家族とよく話し合う機会を持ち、契約を結んでいる。  |                               |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | (自己評価)<br>御家族が面会に来られた時は、管理者職員が家族と話す機会を持ち、常に御家族の声が身近かに聞けるような雰囲気作りをしている。又ご利用者の意見や要望も日常会話や動作表情から汲み取り、業務に反映できるように取り組んでいる。 |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>利用者には日常の生活の中で聞いたり、家族には訪問時や電話連絡をした時に意見や要望等を聞いている。また、運営推進会議や家族会等でも聞くよう心がけている。家族の方からの要望は、職員会議等で話し合い実践につなげている。  |                               |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-----------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | (自己評価)<br>月に1回の定例の管理者、職員ミーティングを行い、職員の意見を聞き、運営に反映している。<br><br>(外部評価)<br>年1回の個人面接で意見を聞いたり、ミーティング時に職員から意見をだしてもらっている。管理者とは気軽に話ができ、利用者のケアについて提案する事も多く、管理者も職員の意見を採り入れ、話し合いを行い実践に活かしている。 |                               |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | (自己評価)<br>代表者は、管理者始め個々の職員の、努力や実績、勤務状況を把握して、給与などに反映し。各職員が向上心を持ち、安心して働くことができるよう、育児休暇、介護休暇、有休休暇取得など、職場環境、条件の整備に努めている。  |                               |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | (自己評価)<br>職員の研修計画を作成し、個々の職員に必要な、内外の研修を受けることができるよう、又、働きながらステップアップができるように、資格取得研修に職員を参加させている。  |                               |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価)<br>値域密着型サービス協会に所属して、各種研修や相互研修事業に参加し、同業者と交流する機会を作り、サービス協会の活動を通じて、地位全体のサービスの質を向上させるべく、日々努力をしている。   |                               |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |                               |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | (自己評価)<br>ケアに関わる職員一人一人が、1対1でお話しする機会を持ち、ご本人の気持ちをくみ取れるような対応を心がけている。又、入所の初期段階には、特に様子に注意し、小さなサインを見逃さないようにしている。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>入居前や、入居後に御家族と話し合い、ご本人や御家族の状況を理解して、御家族の不安、要望に耳を傾け、その不安や要望が解決されるよう計画し、頻回に話し合いを行うことで、御家族との関係作りに務めている。  |                               |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>サービス利用前に、ご本人と御家族と面談を行い、グループホームへの入居が、ご本人や御家族にとって、最良の支援であるかどうかを話し合う。  |                               |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>「ホームはご利用者にとっての自宅である。」という事を忘れず、できないことのお手伝いとして、利用者に関わっている。料理や掃除などのできることは利用者にしていただき「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることで、主体的な生活の場ということを、利用者の方々にも理解していただいている。   |                               |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>利用者の様子をこまめにお伝えして、御家族にも協力していただきながら、御家族と共にご本人を支えている。  |                               |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)<br>地域に暮らすなじみの友人などに来ていただけるように働きかけている。また、同事業所内の通所介護を利用されていた方々には、時々、通所介護を訪れ友人やなじみの職員と交流できる機会を設けている。<br><br>(外部評価)<br>家族と出かけて馴染みの場所や美容院に行ったり、知人が訪ねてきたりする。長く入居している利用者は、ホームが自分の居場所となっている人もおり、デイサービスとの交流等で新たな馴染みの関係ができるよう努めている。 |                               |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------------------------------------|------|---|--|-------------------------------|
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>日常生活の中から、また、日々の申し送りの中から、利用者同士の関係について把握し、座席の配置などに配慮している。利用者同士で自然と交流できるようなレクや雰囲気作りを行い、利用者同士の関わり合いを大切にしている。   |                               |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>退所された方に対しても、ご本人、御家族の希望がある方には、再度入所していただけるよう、できる限りの対応をしている。また、他の事業所に移られた方も、地域でお会いしたときには、状況をお聞きするなどして、関係を断ち切らないように努力している。   |                               |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |  |                               |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>普段から、一人一人の希望や思いを聞く時間をもち、ケアプランを作成する際には、ご本人の意向を尊重している。また、思いを伝えるのが困難な方は、御家族とお話したり、日常生活の仕草や表情から、思いを汲み取るよう務めている。<br>(外部評価)<br>担当の職員を中心に、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。できるだけ利用者へ寄り添った思いを聞くようにしている。把握した内容は記録に残し、カンファレンスや申し送り等で共有し支援にいかしている。 |                               |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>入所前に、ご本人、御家族から得た、生活環境や仕事などの情報を把握したうえで、ケアに携わっている。入所してからは、何気ない会話の中からも、昔の生活背景を聞き出すことができるので、積極的に利用者に関わる中で情報収集を行っている。   |                               |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>一人一人の一日の過ごし方や、生活リズムを把握することで、その人らしい暮らしが遅れるよう支援している。又、定期的にアセスメントを実施し、心身状況やADL、IADLの現状も把握している。  |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|--|---|-------------------------------|
| 26       | 10       | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画を作成する際には、事前にご本人や御家族とお話しする機会を作っている。その上で、職員間でカンファレンスを開催し意見交換、情報交換の場を設けるようにしている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の希望を聞いたり、職員の意見を採り入れて、計画作成担当者が介護計画を作成している。担当の職員が週1回モニタリングをし、カンファレンスで話し合っている。3か月ごとに見直しを行い、計画作成時には家族にも参加してもらっている。参加できない家族に対しては電話で報告している。 |                               |
| 27       |          | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | (自己評価)<br>日々の様子や行ったこと、変化や気づき等詳細に個別記録に記入し、全職員が目を通すことで情報を共有している。その情報をもとに介護計画の見直し作成をしてケアを行っている。  |                               |
| 28       |          | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる             | (自己評価)<br>利用者の方の急変時には、柔軟な支援が出来るよう日頃から医療機関との連携を行っている。また、ご本人、ご家族からのニーズには常に耳を傾け、ニーズに即した対応を心掛けている。  |                               |
| 29       |          | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | (自己評価)<br>ご本人を支えている、ご近所、隣組、友人、老人会など地域資源を把握して、協力していただける部分は協力していただいている。   |                               |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している  | <p>(自己評価)<br/>入所前からのかかりつけ医や、ご本人、ご家族が希望<br/>される医療機関、事業所の協力医で医療を受けていた<br/>だいでいる。受診の際は、ご家族に協力していただい<br/>たり、訪問診療に来ていただいている。</p> <p>(外部評価)<br/>利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を基本と<br/>しているが、往診も可能なため協力医療機関をかかり<br/>つけ医としている利用者が多い。他の専門的な医療機<br/>関をかかりつけ医としている方は家族が受診に付き<br/>添っている。また24時間の医療連携が取れている。</p> |                               |
| 31   |      | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | <p>(自己評価)<br/>利用者さんに状態の変化が見られた時は、看護師へ報<br/>告、相談しその都度指示を仰いでいる。</p>   |                               |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できる<br>ように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | <p>(自己評価)<br/>入院時は、本人に関する情報を医療機関に提供するよ<br/>うにしている。また、入院先の病院と頻繁に連絡を取<br/>り、早期退院に向けたアプローチを行っている。</p>  |                               |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | <p>(自己評価)<br/>入所時より、本人の状態に合わせて、重度茅終末期に<br/>ついての相談を行い、終末期の方や御家族とは密に連<br/>絡を取って支援を行っている。</p> <p>(外部評価)<br/>利用者や家族が希望し、ホームで看る事が可能であれ<br/>ば看取りをする方針であることを入居時に説明してい<br/>る。利用者の状態の変化に応じて家族、かかりつけ医<br/>と話し合いを行い対応している。職員は看取りについ<br/>ての勉強会も行っている。</p>   |                               |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|----------------------------------|------|--|---|--|
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>急変や、事故発生に備えて、救急マニュアルを作り、毎年職員数名ずつ、AED・心肺蘇生の研修に参加している。  |  |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>防火訓練・避難訓練を年に2回行い、緊急災害に備えて訓練を行っている。地震や水害に対しては、マニュアルがあるが、もう少しこまかい部分に再考が必要なため、今後マニュアルの検討予定である。今月のミーティングで言葉で具体的に水害時、地震時の避難場所を決めたがそれが職員全員に行き渡るようにしていきたい。<br>(外部評価)<br>年2回避難訓練を行い、夜間を想定した訓練も行っている。昨年スプリンクラーの設置をしている。マニュアルは作成しているが避難場所など見直しの必要があり、作り直す予定としている。災害に備えた備品も徐々に準備している。応急処置等の研修にも職員が交替で参加している。 | 災害はいつ起こるかわからないため、職員は利用者の避難を的確に行う方法を身につける事が求められる。ホーム独自のマニュアルを作成し、地域の協力を得ながら訓練する事を期待したい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>利用者の方は、人生の先輩であるということを忘れず、常に丁寧な対応、言葉かけをするよう心がけている。また、入浴時、排泄時、その他の場面においてもプライバシーに配慮したケア、言葉かけを行っている。<br>(外部評価)<br>利用者の部屋に入る時には職員は必ず声をかけており、言葉かけも穏やかである。利用者一人ひとりの今までの過ごしてきた背景も考慮しながら対応している。申し送り時には個人情報が出れないよう配慮している。   |  |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>何事も職員の判断で決めるのではなく、利用者にお伺いし、意思表示、自己決定していただくようにしている。ご自分で判断していただくことで、その時の利用者の気持ちを大切にしている。  |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>利用者一人一人の生活習慣や性格を理解し、それぞれのペースで生活していただけるよう心がけている。皆が同じ時間に同じことをするのはなく、自宅のようにしたいときにしたいことを出来るような環境作りをしている。  |                               |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | (自己評価)<br>着替えの時の服は出来る限りご自分で選んでいただいて、季節や気温に合わせてさりげなく援助を行っている。髪型は、ご本人の希望に沿って髪止めやゴムで結ったり、伸ばしたり切ったりしている。  |                               |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | (自己評価)<br>食事のメニューは、利用者の希望を取り入れた上でたてている。準備はできることはお手伝いして頂き、楽しい雰囲気でおこなっている。また、食事前の台拭きや、セッティングも役割として担っていただいている。食事は利用者職員とも同じテーブルで、同じ食事とし料理の感想なども会話の中で述べ合っている。<br>(外部評価)<br>利用者の身体機能の低下によりできる事が少なくなってきたが、できるだけ職員と一緒にやるよう努めている。食事は利用者の楽しみの1つであり、職員も一緒にテーブルに座り食事の時間を楽しんでいる。調理担当の職員がいるため介護職員は利用者のケアに専念できている。 |                               |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | (自己評価)<br>ひとりひとりの病気や身体状態を理解し、その人に合った食事量、カロリー、水分を提供している。水分は食事以外にもこまめに摂取するよう勧め、水分不足にならないよう注意している。   |                               |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | (自己評価)<br>自分の歯がある方は、毎食後歯磨きを行い、うがい薬も使用して口臭予防を行っている。義歯の方は、毎回技師洗浄し、夕食後は毎回ポリドントに漬けて洗浄している。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>トイレの訴えが出来ない方は、表情やしぐさから排泄のサインを読み取ったり、排泄のパターンを把握することで、失禁することなくトイレ誘導できている。また、訴えが出来る方に対しても排泄チェックを実施し、間隔が長いようであれば声かけて早めの対応が出来るよう心がけている。 |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>一人ひとりの排泄パターンを把握して支援している。夜間はオムツを使用している利用者も、昼間はトイレ誘導している。見守りの人もトイレの後は必ず確認している。夜間は声かけを行っているが、睡眠剤を使用している利用者などは睡眠を優先したり、介助を行ったりしている。    |                               |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>ひとりひとりの排便チェックを実施すると共に、個々が服用している便秘薬を把握している。排便の状態も確認し、便が固い方に対しては、こまめな水分補給の声かけ屋、バナナや芋など繊維の多い食べ物を提供し、便秘の予防に努めている。                      |                               |
|      |      |   | (外部評価)   |                               |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>入浴前に本人に確認を行い、希望があれば入浴するようにしている。希望されない方に対しては時間や日にちをずらすなどして声かけをしている。   |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>入浴は午後からになっているが、利用者の希望に合わせて2日に1回は入れるよう支援している。入浴の苦手な利用者は、無理強いをしないよう声かけや対応を工夫して気持ちよく入ってもらえるように心がけている。                                 |                               |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>日中疲労感があるときや、入浴、運動後に疲れた様子が見られる方には、居室にてゆっくり休んで頂くよう声かけをしている。また、なるべく日中の活動量を増やして夜間の安眠につながるよう支援している。                                     |                               |
|      |      |   |  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価)<br>薬の名前、目的、副作用を記している表を、個々の利用者別に用意し、いつでも確認できる場所に保管している。また、きちんと服薬したかどうかの確認を行い、身体状況や尿量、浮腫等に変化がないか、常に気をつけて観察している。   |                               |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>家事が得意だった利用者には、料理のお手伝いをお願いしたり、手芸が趣味の方には様々な物づくりが行えるよう提供している。また、皆で歌を歌ったりカルタ取りなどをして、にぎやかに過ごせる時間を設けている。天気が良い日は散歩に出かけ、外の空気を吸うことで、気分転換の時間を作っている。  |                               |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>日常の中で、近所に散歩に出かける支援をしている。また、ご本人の希望があれば、職員と一緒に買い物に出かけている。そのほか普段はいけない遠方の場所へ行きたいと希望される方には、ご家族に協力していただいたり、職員の勤務を調整するなどして外出援助をしている。<br>(外部評価)<br>利用者の希望に合わせて買い物やドライブ、散髪等に出かけている。天気の良い日は散歩が日課になっており、近所の公園や寺、神社に行っている。園芸を楽しむ事で外気に触れる機会も作っている。また年間行事の中に外出の計画を立てて支援している。 |                               |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>定期的に、職員と一緒に近所のスーパーに出かけ、ご自分の必要な物や、ほしい物をご自分で購入していただいている。   |                               |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | (自己評価)<br>家族や、知人へ電話をかけたいと希望がある場合には、職員が時間帯を考慮したうえで、差支えがない時間であればいつでも電話をかけていただいている。   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>(自己評価)<br/>居間、食堂には1カ月ごとにその季節に合った手作りの壁紙を貼り、季節感を感じられるようにしている。また、気温や湿度を考慮して、室内の温度を調節している。また、トイレはシルバーカーや歩行器を使用している利用者には、スムーズに歩けるよう、広い方のトイレへ誘導するようにしている。</p> <p>(外部評価)<br/>居間には季節の花を飾り、壁には職員と利用者が手作りした季節に応じた飾りがしてある。台所からも利用者を見守ることができるようになっていいる。利用者が日々過ごす事ができるように家具やソファの配置を工夫し、畳のスペースも確保している。適温に保たれた部屋で利用者も穏やかに過ごしている。</p> |                               |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | <p>(自己評価)<br/>共有の居間とは別に、畳の部屋を設けている。畳の部屋にこたつとテレビを置いているので、そこを仲の良い方どうしで過ごしたり、一人でゆっくり過ごせるような場所になっている。</p>  |                               |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | <p>(自己評価)<br/>利用者の方が、今まで使用していた、使い慣れた家具を居室に持ってきて使っている。また、ベッドのシーツや布団、その他の日用品も、ご自分の好みのものを使用いただいている。</p> <p>(外部評価)<br/>部屋の中は家庭より使い慣れた物や、お気に入りの物が持ち込まれ、家庭で過ごしていたように配置されている。壁の飾りも好みに合わせている。掃除も行き届いており、落ち着いて過ごせる部屋作りがされている。</p>   |                               |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | <p>(自己評価)<br/>居室がわからなくなる利用者や、目が見えにくい利用者の居室前には、名前を大きく書いて貼り、すぐわかるようにしている。また、一人で歩行できるが不安定な利用者は、できるだけ居室から近い場所に食事の席を配置するといった工夫をしている。</p>  |                               |